

- 問1 長野県松本市のように、周囲を険しい山々に囲まれた盆地や内陸部で見られる気候の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 一年を通じて温暖な気候であり、夏は降水量が多いが、冬は晴天が続いて非常に乾燥する。 | 2. 山地によって季節風がさえぎられるため、一年を通じて温暖で、全国的に見ても降水量が極めて少ない。 | 3. 季節風の影響で冬に雪や雨が多くなるが、夏は太平洋高気圧の影響で晴天が続き、乾燥する。 | 4. 冬の寒さが厳しく、夏と冬の気温差や一日の気温差が非常に大きい一方で、年間の降水量は少ない。 |
|--|--|---|--|
- 問2 福島市の笹木野付近の地形図には、発電所や変電所を示す地図記号が記されています。地形図における地図記号の役割や、この施設に関する説明として最も適切なものはどれですか。（2024年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 土地がどのように利用されているかを分類する記号であり、この場所が主に工業用地であることを指す。 | 2. 特定の建物の機能や目的を記号化したもので、この場合は電気を発生させたり電圧を変えたりする施設を指す。 | 3. 交通網の結節点であることを示す記号であり、庭坂駅などの鉄道駅と直結した物流拠点であることを指す。 | 4. 地表の起伏や傾斜を等高線とともに表現する記号であり、この場所の標高が周囲より著しく高いことを指す。 |
|--|---|---|--|
- 問3 本州の中央部に位置する標高3,000メートル前後の険しい山々についてまとめた学習ノートにおいて、通称「北アルプス」と記載される、日本アルプスの中で最も北に位置する山脈の名称を選択してください。（2023年 高知県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 飛騨山脈 | 2. 赤石山脈 | 3. 木曾山脈 | 4. 日高山脈 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問4 長野県松本市などの気候統計では、冬の月平均気温が氷点下近くまで下がり、夏の月平均気温は25度を超えますが、月間降水量は年間を通して150mm以下と少なく推移します。このように降水量が少なくなる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|--|-------------------------------------|---|
| 1. 夏に南東からの季節風が直接吹き込み、上昇気流が発生しにくい地形だから | 2. 湿った季節風が周囲の山地を越える際に雨や雪を降らせ、乾燥した空気が流れ込むため | 3. 一年を通じて安定した高気圧に覆われ、上昇気流が全く発生しないから | 4. 冬に北西からの季節風が山脈を越えて、大量の雪を降らせることで乾燥するから |
|---------------------------------------|--|-------------------------------------|---|
- 問5 長崎県の五島列島付近から、平戸や佐世保などの沿岸を通り、対馬海峡を抜けて日本海へと北上していく海流があります。この海流の名称と性質の組み合わせとして、正しいものはどれですか。（2017年 京都府公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------|--------------|-------------|-------------|
| 1. 対馬海流（暖流） | 2. リマン海流（寒流） | 3. 日本海流（暖流） | 4. 対馬海流（寒流） |
|-------------|--------------|-------------|-------------|
- 問6 地形図上で「双葉」のような形で描かれる地図記号（水田）が多く見られる場所について、その地形的特徴と立地の関係を説明したものとして適切なものはどれですか。（2019年 長崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------------|--|--|--|
| 1. 水はけを良くするため、等高線が密集している急な斜面地に位置する。 | 2. 冷涼な気候を利用するため、その地域の中で最も標高が高い山頂付近に位置する。 | 3. 稲作に必要な水を得やすいため、一般に周囲よりも標高が低い平坦な土地に位置する。 | 4. 土地の浸水を防ぐため、周囲より標高が高い等高線の間隔が狭い場所に位置する。 |
|-------------------------------------|--|--|--|
- 問7 川が山間部から平地へと流れ出るところに見られる扇状地では、古くから果樹園として土地が利用されることが多くあります。このように、扇状地が水田よりも果樹園としての利用に適している理由を説明したものとして、最も適切なものはどれかを選びなさい。（2024年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---------------------------------------|---|---|
| 1. 地表面が平坦で保水力が高いため、灌漑施設を作らなくても大量の水を確保できるため | 2. 粘土質の土壌が厚く堆積しており、水を地表に溜めておく力が非常に強い。 | 3. 山地から運ばれた礫や砂が多く堆積しており、水が地中にしみ込みやすく水はけが良い。 | 4. 標高が低く周囲から水が集まりやすいため、常に湿った状態を好む作物の栽培に適している。 |
|--|---------------------------------------|---|---|
- 問8 日本列島の中央部を南北に縦断するように位置し、ラテン語で「大きな溝」を意味する名称を持つ、地質学的な境界を含む地域を何と呼びますか。（2023年 鳥取県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------|---------|------------|----------|
| 1. 火山前線（火山フロント） | 2. 日本海溝 | 3. フォッサマグナ | 4. 中央構造線 |
|-----------------|---------|------------|----------|
- 問9 日本の夏における気候の特徴を決定づける季節風について、その風が吹き出す方位と、風が持っている性質の組み合わせとして最も適切なものを選択してください。（2025年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------|-----------------------------|-------------------------|-----------------------------|
| 1. 南東の太平洋側から吹き、暖かく湿っている | 2. 南西のユーラシア大陸側から吹き、暖かく乾いている | 3. 北東の太平洋側から吹き、冷たく湿っている | 4. 北西のユーラシア大陸側から吹き、冷たく乾いている |
|-------------------------|-----------------------------|-------------------------|-----------------------------|
- 問10 日本海側の地域において、冬に降水量（降雪量）が多くなるメカニズムについて述べた次の文章の空欄にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものはどれですか。「冬にシベリア側から吹く冷たく乾いた（X）が、（Y）を渡る際に水蒸気を含み、山々にぶつかって雪や雨を降らせる。」（2018年 長崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------|-------------------|-----------------|----------------|
| 1. X：季節風 Y：日本海 | 2. X：季節風 Y：オホーツク海 | 3. X：偏西風 Y：東シナ海 | 4. X：貿易風 Y：太平洋 |
|----------------|-------------------|-----------------|----------------|
- 問11 令和2年に発行された地形図上で、地点Bと地点Cの間の経路を確認したところ、地点Bの標高は50m、地点Cの標高は160mであることが読み取れました。この2地点間の移動に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2023年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 地点Bから地点Cに向かう場合、等高線の数値が大きくなるため、移動は下り坂となる。 | 2. 地点Bから地点Cに向かう場合、標高差が110mあるため、移動は上り坂となる。 | 3. 地点Cから地点Bに向かう場合、標高差が100m未満であるため、地形はほぼ平坦である。 | 4. 地点間の距離が等高線の間隔より短ければ、数値が異なっても標高差は発生しない。 |
|---|---|---|---|
- 問12 日本列島を東西に分ける巨大な溝状の地形であるフォッサマグナの西側の境界（糸魚川―静岡構造線）は、何県何市と何県何市を結ぶ線となっているか、正しい組み合わせを選びなさい。（2018年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------|-----------------|------------------|------------------|
| 1. 新潟県糸魚川市と静岡県静岡市 | 2. 石川県金沢市と三重県津市 | 3. 山形県酒田市と茨城県鹿嶋市 | 4. 富山県富山市と愛知県名古屋 |
|-------------------|-----------------|------------------|------------------|
- 問13 日本列島の周辺を流れる海流のうち、東北地方の沖合で千島海流（親潮）とぶつかって「潮目（潮境）」を形成し、豊かな漁場を作る要因となっている暖流はどれですか。（2025年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|---------|-------------|----------|
| 1. 北大西洋海流 | 2. 対馬海流 | 3. 日本海流（黒潮） | 4. リマン海流 |
|-----------|---------|-------------|----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 冬の寒さが厳しく、夏と冬の気温差や一日の気温差が非常に大きい一方で、年間の降水量は少ない。	中央高地の気候は、海から離れた内陸部に位置するため、熱を蓄えにくい陸地の性質が強く表れます。そのため、夏と冬の気温差（年較差）や日中の最高気温と夜間の最低気温の差（日較差）が大きくなります。また、周囲の山々が湿った空気を遮るため、年間降水量が1000mm程度と、日本の他の地域に比べて少なくなるのが大きな特徴です。
問2	答え 2 特定の建物の機能や目的を記号化したもので、この場合は電気を発生させたり電圧を変えたりする施設を指す。	地図記号には、大きく分けて「建物の種類や目的を示すもの」と「土地の利用状況（田、畑など）を示すもの」があります。発電所・変電所の記号は前者に該当し、その場所がどのような役割を担っているかを明示しています。地形図を読解する際は、単に記号を暗記するだけでなく、その施設が社会の中でどのような機能を果たしているかを理解することが重要です。笹木野付近の事例では、付近の住宅地や産業へ電力を供給するための施設が配置されていることがわかります。
問3	答え 1 飛騨山脈	本州中央部には「日本アルプス」と総称される3つの山脈があり、北から順に飛騨山脈（北アルプス）、木曽山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）と呼ばれます。選択肢にある日高山脈は北海道にある山脈であり、名称が似ているため受験では頻出のひっかけ要素となっています。
問4	答え 2 湿った季節風が周囲の山地を越える際に雨や雪を降らせ、乾燥した空気が流れ込むため	夏は太平洋側から、冬は日本海側から湿った空気が流れ込みますが、中央高地に到達するまでに高い山脈を越える必要があります。空気中の水分は山脈の風上側で雨や雪として降ってしまうため、山を越えて中央高地に吹き込む風は乾燥した状態になり、年間降水量が抑制されます。
問5	答え 1 対馬海流（暖流）	九州北西部から対馬海峡を経て日本海へ流れ込むこの海流は、黒潮（日本海流）から分かれた暖流です。五島列島などの長崎県周辺を通過し、日本海側の気候や漁業に大きな影響を与えています。対馬海峡の名前を冠しており、低緯度から暖かい水を運び性質を持っています。
問6	答え 3 稲作に必要な水を得やすいため、一般に周囲よりも標高が低い平坦な土地に位置する。	水田は稲を育てるために大量の水を蓄える必要があるため、河川から水を引きやすく、かつ水がたまりやすい低地に多く作られます。地形図上では、等高線の間隔が広く平坦であることが読み取れる場所に、この双葉のような記号が分布するのが一般的です。
問7	答え 3 山地から運ばれた礫や砂が多く堆積しており、水が地中にしみ込みやすく水はけが良いため。	扇状地は、河川が山地から平地に出る際に、運んできた土砂や礫（小石）を堆積させて作った地形です。堆積物の粒が大きく隙間が多いため、雨水や河川水が地下に浸透しやすく、「水はけが良い」という特徴があります。水を溜める必要がある水田には不向きですが、乾燥した環境を好むブドウやモモなどの果樹栽培には非常に適しています。
問8	答え 3 フォッサマグナ	明治時代にナウマンによって命名されたこの地域は、日本列島を東日本と西日本の地質構造に分ける巨大な溝状の地形を指します。西端の境界は糸魚川静岡構造線と呼ばれ、この溝を新しい時代の地層が埋める形で現在の地形が形成されました。
問9	答え 1 南東の太平洋側から吹き、暖かく湿っている	日本の夏は、小笠原気団（太平洋高気圧）が発達するため、南東の太平洋側から日本列島に向かって季節風が吹き込みます。この風は低緯度の海洋上を通ってやってくるため、大量の水蒸気を含んだ「暖かく湿った空気」という性質を持っており、これが日本の蒸し暑い夏の主因となります。北西から吹く冷たく乾いた風は冬の季節風の特徴です。
問10	答え 1 X：季節風 Y：日本海	日本の気候は、季節によって吹く方向が変わる「季節風」の影響を強く受けます。冬は北西のシベリア側から、夏は南東の太平洋側から吹くのが特徴です。特に冬の季節風は「日本海」の上空を通過する際に水分を吸収するため、日本海側の地域に世界的な豪雪地帯を形成する要因となります。偏西風は日本の上空を一年中西から東へ吹いている風であり、季節風とは区別されます。
問11	答え 2 地点Bから地点Cに向かう場合、標高差が110mあるため、移動は上り坂となる。	地点B（50m）と地点C（160m）の標高を比較すると、地点Cの方が高いため、BからCへの移動は上り坂になります。また、その標高差は数値の差である「160m - 50m = 110m」として算出されます。100mを超える標高差がある場合、地形図上でも複数の等高線をまたぐことになります。
問12	答え 1 新潟県糸魚川市と静岡県静岡市	フォッサマグナの西端は、日本海に面した新潟県の糸魚川と、太平洋に面した静岡県の静岡を結ぶ明瞭な断層線となっており、これを「糸魚川―静岡構造線」と呼びます。この線よりも西側には古い地層が露出しているのに対し、東側には新しい地層が厚く堆積しています。
問13	答え 3 日本海流（黒潮）	東北地方の三陸沖では、南からの暖流である黒潮（日本海流）と、北からの寒流である親潮（千島海流）がぶつかり合います。ここにはプランクトンが豊富に集まるため、世界的な好漁場となっています。